

機案

米

(分類)

電 信 案	利 益 代 表 ノ 貴 地 到 着 係 ノ 以 外 ノ 他 智 行 ニ 於 テ	今 般 英 國 ノ 利 益 代 表 ニ 對 シ テ 瑞 西 ニ 對 シ テ モ 同 様 ノ 事 ト ス ル ニ 付	貴 電 第 一 六 四 号 ノ 関 シ	電送第 17525 號	主管 兼 運局長
				昭和十七年五月十四日 午後 4 時 40 分發	主任 第三課長
件名	宛	發	記録件名	發	發
外交官の出入に付、交換に關する件	朝鮮總督府 鈴川司政局長	阪本政重局長			
第七〇號					

電信課長

發電係

昭和十七年五月十四日 起草

(日本標準規格 B6)

機案

南洋局  
機案

(分類)

電 信 案	軍 側 ト 申 越 ル 上 往 電 第 一 五 七 〇 号 ノ 方 法 ニ 依 リ	申 越 ル 一 二 三 ト モ 現 在 ノ 能 力 ニ 付 貴 地	貴 電 第 一 五 七 号 ノ 関 シ	電送第 17481 號	主管 兼 運局長
				昭和十七年五月十四日 午後 7 時 0 分發	主任 第三課長
件名	宛	發	記録件名	發	發
在外の敵國人引揚に關する件	在泰 石井代理大使	東郷大匠			
第六二五號					

電信課長

發電係

昭和十七年五月十四日 起草

(日本標準規格 B6)

主信	/	/	2
附甲			
附乙			
附丙			
附丁			
備考			

懸案

公 信 案	人 八 名 ヲ 来 ル ニ シ テ 大 連 光 二 十 五 日 早 朝	在大連英國領事館為其他之交換船隻船ノ英國	在大連英國領事館為其他ノ内地郵便ニ関スル件	先付送寫	受人信受 大藏省 主税局長	管主 歐亞局長	文書課發送日 昭和十七年五月十五日	淨書 (人見)	正校(原稿)	(淨書)
				名件録記	名人信受 改本改重局長	任主 第三課長	昭 和 十 七 年 五 月 十 五 日 附 附 屬 有 無	日附	附屬	有

文書課長



電 信 案	テ 一 時 保 管 外 事 ノ シ テ 送 リ タ シ
外 務 省	

(日本標準規格 B5)

15 89

(日本標準規格 B5)

内司着、鴨塚丸ニテ内地ニ移送スルニト相成タ  
 之右一行ノ中、飲子館員及和ノ携帶荷物  
 日英国外交官等ニ交換協定ニ依リ無携帶トスルニ  
 ニ決定シタリ又非官吏ニ他ノ三名ノ荷物ニテ大  
 ナル検査ヲ為スニ止ルニ付、付内司程前  
 ニ右ノ各地ニテ通商相成ヌ。其江一行ノ  
 携帶荷物左江ノ通ナリ。

公 信 案

外 務 省

(日本標準規格 B5)

一、国際運輸令ニテ通商ニ送スルキ量荷物  
 飲子、グリーン及子族ノ、トシテ其ノ他 十九回  
 副飲子、ヒツクスノ、トシテ其ノ他 廿回  
 保母、ウツノ、トシテ其ノ他 三回  
 計 二十八回  
 二、携行手荷物  
 飲子、子族ノ、トシテ其ノ他 十三回  
 副飲子、ヒツクスノ、トシテ其ノ他 二回

公 信 案

外 務 省

(日本標準規格 B5)

電信寫

秘

昭和十七年五月十六日午後  
 東京 外務大臣 田中總領事  
 第一五五號  
 (外交官等ノ交換ニ關スル件)  
 貴國第一二七號ニ關シ  
 注電第一四八號ノ通り査定渡レ敵國人ヲモ全部上海へ下江ニシテ  
 テルル豫取計ヲ得ハ最モ好都合ナルモ英領官吏大人等二〇、女一  
 四、子供男七、女八計四九名大體一次引揚船ニテ歸國サシメタキ  
 ニ付御諒議相煩度シ(了)

公 信 案

外 務 省

田中總領事  
 五月十六日午後  
 東京

保母(ワル)フレイノ	シ	四個
香上(ワル)トランク	トランク	四個
同 (カキ)トランク	トランク	四個
フリナー(高倉)大進(カキ)トランク	トランク	四個
計		三十五個

(日本標準規格B5)

電 信 案											加 入 分 の 手 付 テ レ グ ラ ム 、 函 件	國 ヨ リ ノ 引 揚 者 ハ 「 バ イ ラ ウ ク 」 ヲ 以 テ 船 後 ト シ 爾 後 均 ク
-------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

(日本標準規格B5)

外  
務  
省

(分類)

電 信 案											往 電 テ レ グ ラ ム 三 八 〇 号 ニ 関 シ	準 備 ノ 郡 合 上 滿 洲 國 土 登 レ ル 日 一 ニ 日 印 ト	波 乃 ノ 付 滿 洲 領 土 ノ 如 ク 内 務 省 ア リ タ シ 高 滿 洲
暗 電	電 送 第 17655 号	主 管	電 送 第 17655 号	昭 和 十 七 年 五 月 十 六 日 後 時 一 分 發	宛	在 滿 梅 津 大 使	名 宛 外 交 官 領 事 官 等 ノ 交 換 ニ 関 ス ル 件	第 四 五 號	記 録 件 名	發 東 郷 大 臣	主 任 第 三 課 長	昭 和 十 七 年 五 月 十 六 日 起 草	

(日本標準規格B5)

外  
務  
省

東  
運  
局  
第  
一  
課  
長

小  
紙  
選

電  
信  
課  
長

發  
電  
係

昭  
和  
十  
七  
年  
五  
月  
十  
六  
日  
起  
草

秘

電信寫

昭和17 五月十八日 前發、 歐

石門 五月十八日 發着

京 總 外 務 大 臣

瀧山總領事

第九二號

(中北文ヨリノ被交換者上海送出ニ關スル件)

本官發北大宛電報

第七三號

大臣來電合第八六八號ニ關シ

營館内被交換者ニ付テハ方面軍ヨリ當地大領館ニ對シテモ未タ何等指示ナキニ趣ナルカ準備ノ都合モアリ副當人教、檢送方法及電路等ニ付至急御回示請フ  
大臣へ轉電セリ

外務省 交換

秘

電信寫

昭和十七年五月十八日 天津 五月十八日 本宿 十八日 加藤總領事

第一〇二號

(百天軍米國領事館員追加ニ關シ照會ノ件)

貴宿第一六八號ニ詳シ  
「ジョージ・ストーン」ハ往復第五七號ノ逃亡「マリリン」ノ  
名ニシテ其ノ後米國兵營内ニ潜伏中ヲ察見シ本年二月十九日當地  
倉列車ニテ上海浦島收容所ニ送致セラルモ「マリリン」ハ所同人ノ北京米國  
「マリリン」引揚ノ際當座米國警備隊諸君手トシテ殘留ノ標  
定ノ趣アリシモ開戦ニ依リ他ノ「マリリン」ト共ニ俘虜ナリク

ルモノニシテ米國領事館ノ「クランク」トハ認め難ク不件嗣而  
御ノ申出ハ拒否シテ然ルハ「マリリン」ト存スル了

Handwritten notes and signatures in the right margin.

秘

昭和17、一三七六三

略 太原 五月十八日後發  
本省 十九日前着

歐

東郷外務大臣

田中總領事

第八〇號

(中北支ヨリノ被交換者上海輸送ノ件)

本官發北大宛電報

第六七號

外務大臣發電報合第八六八號ニ關シ

當館管内被交換者ハ一應全部當地ニ集合セシメ館員引率ノ上貴地  
迄輸送シ貴官ト打合ノ上出來得レハ貴地ノ分ト一括上海ニ輸送ス  
ルコトト致度キニ付テハ若ニ封スル貴見ト共ニ貴地ヨリノ輸送日  
取至急御同電ヲ請フ(了)

外交官交換

電信寫

秘

昭和

三七五四 略

芝罘 五月十八日後發  
本省 十九日前着

歐

東郷外務大臣

長岡領事

第一〇一號

(中北支ヨリノ被交換者上海輸送ニ關スル件)

貴電合第八六八號貴電第四七號ノ次第ハアルモ往電第九七號ニ依  
ル御詮議ノ結果何分ノ俄御同電ヲ請フ  
北大、青島、上海、南大、威海衛へ轉電セリ

電信寫



(分類)

電 信 案

外 務 省

電送第 17799 號  
昭和十七年五月十八日午後五時五分發

件名 朝鮮總督府  
宛 釜川可成局長  
在野 友野村之使者、内地輸  
件 送、同、二件

第 七 三 號

記録件名 發 陽平局長

昭和十七年五月十八日起草

電 信 案

外 務 省

(日本標準規格 B5)

一、米国人(加太陸人)の台、ハ三日朝、英、人、爲  
洲人(台、ハ)の四日朝、夫、釜山、集、休、セ、入、即  
日、釜山、冬、下、同、向、シ、メ、レ、タ、シ  
二、中、路、船、ハ、直、便、に、依、レ、タ、シ  
三、釜山、集、休、シ、ノ、旅、行、ニ、付、テ、ハ、貴、村、に、移、リ、想、ハ、シ、  
テ、取、リ、テ、カ、ラ、貴、村、に、移、リ、一、時、ヨ、ク、智、  
取、リ、テ、好、部、合、ナ、リ、(滿洲、及、内地、ニ、付、テ

(分類)

電 信 案

外 務 省

電送第 17799 號  
昭和十七年五月十八日午後五時五分發

件名 朝鮮總督府  
宛 釜川可成局長  
在野 友野村之使者、内地輸  
件 送、同、二件

第 七 三 號

記録件名 發 陽平局長

昭和十七年五月十八日起草

電 信 案

外 務 省

(日本標準規格 B5)

一、米国人(加太陸人)の台、ハ三日朝、英、人、爲  
洲人(台、ハ)の四日朝、夫、釜山、集、休、セ、入、即  
日、釜山、冬、下、同、向、シ、メ、レ、タ、シ  
二、中、路、船、ハ、直、便、に、依、レ、タ、シ  
三、釜山、集、休、シ、ノ、旅、行、ニ、付、テ、ハ、貴、村、に、移、リ、想、ハ、シ、  
テ、取、リ、テ、カ、ラ、貴、村、に、移、リ、一、時、ヨ、ク、智、  
取、リ、テ、好、部、合、ナ、リ、(滿洲、及、内地、ニ、付、テ

電 信 案	地 ヨリノ引揚者ニ惣テ神戸ニ相答	貴地英側船乗船者ヲニ日英トモニタシ。尚貴	滞鉄ト申連格ノ上米側交換船乗船者ヲ	往電文四第 四一二號	電送第 17742 號	主管 歐亞局長
					昭和十七年五月十八日午後五時二十分發	主任 第三課長
外 務 省					宛 在滿 梅津大使	發 東郷大臣
					件名 外交官ノ官署交換ニ 関スル件	記録件名

昭和十七年五月十八日起草

電 信 案	ハ同常ノ如ク發行也。一括發送する方 一請求ス。一。適合付キ。一。何事有テ ハ際ニ右取取ヤシク					
外 務 省	在野被交換者ニ交換船出帆迄全神 在ニ帯在セシム					

REEL No. A-1184

交換船機材少帆ノ前日横濱向輸送スル予定ナリ。

電信案

外務省

(日本標準規格B5)

秘

岸利

電信寫

西和野 五四二三七 略

北京 五月十九日 夜發

歐

原郷外務大臣

土田參事官

第四七九號

(外交官交換ニ關シ在北京米大使館員追加)

賀電第三七九號ニ關シ

同人等ノ外交官待遇ニ關シテハ米大使館側及舊地利益代表ヨリ申出タル事無ク貴館トシテハ米大使館員トシテ認メ居ラサル次第ナルカ爲念同人等ノ身分ニ付利益代表ニ確メタル處同人等ハ護衛隊員ニシテ大東亞戰前米國商ハ護衛隊總引揚ノ際同人等ヲ同隊兵營ノ管理人トシテ殘留セシムル計畫アリタルモ大機動發ニ依リ其ノ儘捕虜トシテ上海ニ護送セラレタルモノナル慮ナリ(了)

外交官交換

秘

保科

電信寫

昭和 五四二三二 號 北京 五月十九日 後發 本省 十九日夜着 賦

東洋外務大臣 土田 參事官

第四七八號

(外交官等ノ交換ニ關スル件)

往電第四四九號ニ關シ

輸送方法等ニ關シテ太原其ノ他與地方ヨリ問合アル處出來得ル  
限リ速ニ北支方面軍ト協議シ方針決定致慶ニ付折返シ至急御回答相  
成慶

南大、上海へ轉電セリ

外交官交換

外機密

昭和17年 一三八二二 暗

漢口 五月十九日 晴  
本省 十九日 後著 歐、亞

東洋外務大臣

田中總領事

第一五六號

保科

之ハ強制引揚トスルコトハ

(キニアラズ)

11.5.20

其ノ旨歌ニ

電信寫

(米國人宣教師ノ引揚問題ニ關スル件)  
當地政團人引揚希望者ハ往電第一五五號ノ通り決定ヲ見タル處引揚ヲ希望セサルモノノ内米國聖光會僧正「ギルマン」ハ視察團的色彩強ク且支那人信徒間ニ牢固タル勢力ヲ有シ内々信徒間ニ反日的言辭ヲ弄シ居ル形跡アリ我方ノ婉曲ナル引揚勸告ニ對シ若シ日本國ニ於テ同人ノ在留ヲ希望セサレハ非占領地域へ遣放セラレ度ノト述フル等願ル非協調的ニシテ今後同人ヲ在留セシムルコトハ

米英色拂拭上支障アリト思考セラルル處軍團ニテモ同意見ニテ若シ同人ニ於テ引揚ヲ背ンセサル場合ハ「在留好マンカラサル人物」トシテ強制的ニ引揚ケシメントノ内意アリ又同人カ引揚ヲ希望セサル爲同人ト共ニ懇望セント希望スル宣教師數名アリ若シ同人ヲ在留セシムル場合ハ右一派ヲ抑留或ハ殺害スルノ必要モ生スルコトトナルヘシ  
就テハ此ノ際出來得レハ強制的ニモ同人ヲ第一船ニテ引揚ケシムルニト好都合ナリト若ヘ居ル次第ナルカ今回ノ引揚ハ益ク本人ノ自由意志ニ基カシムルモノナリヤ又右強引揚處分ニ依リ我國側カ我同胞引揚ニ際シ何等カ報復手段ニ出ツル惧レ無キヤ爾分ノ後御回電アリタシ  
上海、南大へ薄電セリ

外務省 引揚

外機密

昭和十三年五月十九日

漢口 五月十九日 前發  
本省 十九日 後着

歐、亞

東部外務大臣

田中總領事

第一五六號

(米國人宣教師ノ引揚問題ニ關スル件)

當地敵國人引揚希望者ハ往而第一五五號ノ通り決定ヲ見タル處引揚ヲ希望セサルモ、内米國聖光會信正「ギルマン」ハ親重慶的色彩強ク且支那人信徒間ニ牢固ナル勢力ヲ育シ内々信徒間ニ反日的言辭ヲ弄シ居ル形跡アリ我方ノ婉曲ナル引揚勸告ニ適シ若シ日本側ニ於テ同人ノ在留ヲ希望セサレハ被占領地域ヘ追放セラレ度ト述フル等頗ル非協調的ニシテ今後同人ヲ在留セシムルコトハ

電信寫

本英色被占領地上支離アリト毎考セラルル處軍部ニテモ同意見ニテ若シ同人ニ於テ引揚ヲ付ンセサル場合ハ「在留管理マンカラサル人物」トシテ留置シ引揚ケシメント決意アリ又同人カ引揚ヲ希望セサル場合同人ト共ニ強固セントシ希望スル宣教師名アリ若シ同人ヲ引揚セシムル場合ハ右一派ヲ都留或ハ留置スルノ必要モ生スルコトトナルヘシ

就テハ此ノ際出来得レハ獎勵的ニモ同人ヲ第一階ニテ引揚ケシムルコト可成合ナリト考ヘ居ル次第ナルカ今回ノ引揚ハ益々本人ノ自由意志ニ基カシムルモノナリヤ又右獎勵引揚成分ニ依リ敵國領カ我軍引揚ニ際シ何等カ復手後ニ出ツル誤レ無キヤ同分ノ後御回電アリタン  
上海、南大へ轉達セリ

田中總領事

秘

あだ

電信寫

昭和四 一三八四七

光化門  
本省

五月十九日  
夜

鈴木司政局長

AG

東郷外務大臣

第六七號

（在辭被交換者ノ内地輸送ニ關スル件）

貴電第七三號ニ謝シ

本府トシテハ歸國人員ハ輸送列車ノ關係上三日及四日ノ二回ニス

ルコト無ク一回ニ致シタク尙引繼地ハ釜山ナルヤ下津ナルヤ至急

回答請フ（了）

外機密

電報 一三八二二 暗

漢口 五月十九日 本省 十九日 後

歐 五

東郷外務大臣

田中總領

第一五六號

(米國人宣教師ノ引揚問題ニ關スル件)

舊地歐國人引揚希望者ハ往復第一五五號ノ通り決定ヲ見タル處引揚ヲ希望セサルモ、内米國聖光會僧正「ギルマン」ハ親重慶の色彩強ク且支那人信徒間ニ牢固ナル勢力ヲ育シ内ニ信徒間ニ反目的言辭ヲ弄シ居ル形跡アリ我方ノ婉曲ナル引揚勸告ニ對シ若シ日本側ニ於テ同入ノ在留ヲ希望セサレハ被占領地域ニ追放セラレ度ト述フル等願ル非協調的ニシテ今後同入ヲ在留セシムルコトハ

電信寫

米英色紙紙上突進アリト懸念セラルル處軍機ニテモ同意見ニテ若シ同入ニ於テ引揚ヲ肯シモサル場合ハ「在留マシカテサル人物」トシテ電報勸告ニ引揚メメントノ内意アリ又同入カ引揚ヲ希望セサル爲同入ト共ニ強迫セシムル希望ニ直接關係有テリ若シ同入ヲ在留セシムル場合ハ右一派ヲ抑留致ハ難觀スルノ必要モ生スルコトトナルヘシ

取テハ此ノ際同入得レハ強迫的ニモ同入ヲ第一級ニテ引揚ケシムルコト野幕會ナリト意ヘ居ル夫事ナルカ今同ノ引揚ハ悉ク本人ノ自便モ志ニ寄カシムルモノナリヤ又右派ノ引揚趣分ニ依リテ電報勸告ニ對シテ強迫的ニ引揚メシムル等方強迫手段ニ處ツル其レ無キヤ同分ノ電報勸告アリシヤ

上海 南大へ傳電セリ



特扱

OK  
3

昭和17 一三八九二 暗

五月十九日 本署 二十日 前着

東郷外務大臣

石井代理大使

第九四二號 (五急)

(外交官等交換船ニ關スル件)

往電第八九八號ニ關シ

「タイ」側ハ十八日附公文書ヲ以テ該案中ノ全部ヲ受附スル旨  
申達セリ尙「タイ、ナビゲーション」會社所屬ノ左記船舶二隻  
ヲ西貢ヘ運航セシムル由ナリ

- (イ) S.S. Velay (不明) 一三〇七噸、乗客定員一七八名
- (ロ) S.S. Saida (不明) 一三二〇噸 一七六名

電信寫

外務省

特扱

三 (不明) 船舶ノ收容力充分ナラサル爲斷成、自耳義、希臘國人  
三十名ハ陸路西貢ヘ各自自由ニ赴カシムル由ナリ  
西貢ヘ轉電セリ

(不明箇所至急照會中ナルモ不取敢 電價課)

電信寫

外務省

秘

昭和17 一三九九一 略 威海衛 五月二十日發 歐  
本 省 二十日夜着

京郷外務大臣、 眞柄副領事

第二四號

(敵國人輸送ノ件)

本官發青島宛電報

第二號

敵國人八五名六月四日當地發東京亞海運利通號ニテ出發セシム。及上海ヘノ輸送方然ルヘク御手配アリ度シ尙彼等ニ對シ各人別ニ旅行證明書發給ノ要アリマシ御同電請メ。大臣、上總、北大、芝罘ヘ轉電セリ

電信寫

秘

昭和17 一三九五三 略 青島 五月二十日發 歐  
本 省 二十日夜着

東郷外務大臣

第二二〇號

(敵國外交官等交換ノ件)

往電第二〇三號ニ關シ

英領人抑留者「スコット」一名更ニ追加アリ度シ右ノ結果當地引揚者ハ今日迄ノ處英國側官吏九非官吏三〇米國側官吏四非官吏五四名計九七名ナリ新人名表郵送セリ。北大、南大、上海ヘ轉電セリ

電信寫

外交官交換

外交官交換

秘

昭和17 五月二十四日 略

上海 五月二十日午後  
本館 二十日午後

東郷外務大臣

堀内總編輯

第一〇八六號

(馬尼刺船中ノ英婦人ヲ交換船ニ乗船セシムル件)  
實電第四八六號ニ附シ

瑞西總領事ヨリ當地英國大使館海軍總給士官 (Rochester) 申佐夫

人及 (Mrs) 記者 (Mrs) 夫人モ馬尼刺船在中ナルニ付上海へ送

送アリタキ旨顯出タルニ付買頭官電ノ「ロソクハイト」夫人等

共ニ當地ニ於テ第一次交換船ニ乗船シ得ル機取計アリタク請願

アリタシ(了)

電信寫

外務省  
堀内總編輯



外機密

昭和17 五四二七七 昭

廈門 五月二十一日後發 以、並、條  
本省 二十一日後發

東洋外務大臣

小澤總領事

合第三〇號

(廈門海軍側御留外人ノ件)

當地海軍側ニ御留中ノ拿捕船乗組員中八名(諸成人二、白系露人  
五、希臘人一)ヲ五月二十七日頃當地出帆ノ廬山丸ニテ上海へ送  
還スル旨通報アリタリ  
尚右八名ハ何レモ上海ニ家族又ハ身寄ヲ有シ上海滞在希望ノ趣  
本電宛先、大臣、上海

電信寫

秘

昭和17 五四三一一 昭

上海 五月二十一日後發  
本省 二十一日後發

東洋外務大臣

堀内總領事

第一一〇七號

(外交官等ノ引揚ニ關スル件)

廣東、上海第二次引揚者一五名(全部非官吏)ハ二十日崇山丸  
ニテ來滬ナリ内譯左ノ通  
廈門、英三二、印度八、關三、米四加察院二、計四八  
廣東、英二二、譜威三、米三三、「ナルバドル」三、計六一  
當地迄ノ送還者、英四、白露一、英籍日本人一、計六  
廣東、廈門へ轉電セリ

電信寫

外交官等交換

小澤總領事

秘

電信寫

外交官の交換

昭和17年 一月〇八六

漢口 五月三十一日 午後發  
本省 二十一日夜着

京外務大臣

田中總領事

第一五九號

(米國人宣教師ノ引揚問題ニ關スル件)

貴館第一三四號ニ關シ

貴電合馬八〇四號ノ空定米副人員ニ在留好マシカラサハ人物トシ

テ引揚セシムヘキ者管マレ居ラサルニ付五念追加セラレ許五四念  
トセラレタシ(了)

秘

昭和17 五四三一五 略

上海 五月二十一日後發  
不省 二十一日夜着

歐

堀内總領事

東郷外務大臣

第一一一二號

(外交官交換ニ關スル件)

外交官引揚ニ關シ

秘

拒絕

一、西班牙總領事ヨリ在北京前西班牙公使 Justo Cisneros ラ「コレ  
シソマルケス」經由迄交換船ニ便乗セシメラレタキ旨申出  
アリ迄ハ當然拒絕スヘキ筋合ト存セラルルモ同人ノ身分ニモ疑  
ミ如何取計フヘキヤ御回示アリタシ

ニ瑞典總領事代理ヨリ

電信寫

白耳義總領事 Van Cutsem ハ夫人病氣ニテ引揚困難ナルニ付夫

人及子供ト共ニ當地ニ殘留セシメタキ旨申出アリ事情已ムラ得

スト認め許可スルコトトセリ

南大、北大へ轉電セリ

外交官交換

秘

電信寫

昭和17 五月三〇一 晴 新京 五月三十一日 夜 發

本館 三十一日 夜 發

真郷外務大臣

梅澤大使

第三九八號 (大至急)

(在大連英領事館員内地移送ノ件)

法幣第三七三號ニ關シ

諭定通り二十三日出帆セシタルニ領事ノ妻ハ妊娠臨月ノ爲附添一

人及子供一計三名ハ一同トハ門司ニテ分レ引續キ神戸迄乘船待所

方願出テタカニ付何分ノ俸至急歸國寛相堪度シ (丁)



外機密

昭和V 一四〇七八

鎌谷 五月二十一日午後  
本館 二十一日夜着

歐

東郷外務大臣

石井代理大使

第九六六號 (至急)

(外交官等交換船ニ關スル件)

貴電第六四九號ニ關シ「タイ」發第九四二號中不明箇所再電方  
要求ノ件)

再電左ノ通り

(イ) S. S. VALAYA (「ワライ」) 一三一〇噸 乘客定員一七  
六名

(ロ) S. S. SUDDHADIB (「ヌツブタテイブ」) 一三一〇

噸 一七六名

三右ノ通り船船ノ(了)

電信寫

ボク

ハレ及シ  
引継ぎハ下関トシ山口縣警署ニ引渡ハス際  
改メタシ大ニ押付シテ警署ニ引渡シテ  
合行給ヘレハ請願ノ都合上便宜ナリ  
付テ取付

下関若日取次走次方仲用取アリ及シ

電信案

外務省

(日本標準規格B5)

(分類)

電 信 案	第 七 四 號	電送第18180號	主管
		昭和17年5月21日午後7時30分發	主任
外 務 省	一四三三及八十九ニ其ノ場合ハ花満敵ハ人 ノ輸送ノ関係上ニ因リ二日延下関若日取付	件名 在野敵ハ獲有ノ終結 ニ関スル件	朝野野收日付 館川司政局長
		配録件名	發 阪切次郎局長

外務省

(日本標準規格B5)

電信課長

發電係

昭和 年 月 日 起草

21 74

秘

保  
持  
中

電信寫

外交官等引揚ニ關スル件

昭和17 五四三二六 略 張家口 五月二十二日 前發 歐

本省 二十二日 發着

東郷外務大臣 渡邊總領事

第一四六號

(外交官等引揚ニ關スル件)

往電第一三七號ニ關シ

一、本件輸送實施ノ爲當該 コヌマ 警部以下警察官四名ヲ上海迄同行

セシムルコトトセルニ付右該メ御許可相成度シ(憲兵隊側監視

員ハ四名ニ増員ノコトニ打合せタリ)

二、張家口出發期日ハ未定ナルモ大凡六月七、八日ノコトニ草圖ト

打合せ中

三、引揚外人三十九名分ノ運賃トシテ概算三千五百圓アリ御電送ヲ  
請フ

南京、上海、北大へ轉電セリ

秘

昭和五 五四三五〇 略

上海 五月二十二日 夜接  
本省 二十二日夜着

東郷外務大臣

堀内總領事

第一一八號

（引揚敵國人取扱ニ關スル件）

本直鹽濱口宛電報第八六號

貴官兼大臣宛電報第一四八號ニ謝シ

現在當地ニ於ケル「ホテル」及宿舍ノ各地引揚敵國人收容可能限  
ハ往電合第三八六號申進ノ通り各種副保ノ屬第一次交際船乗船者  
約一千名ヲ辛ウシテ收容シ得ルニ過キス然ルニ各地ヨリ交換者  
當外ノ外國人ヲモ此ノ際同時ニ當地ニ移送セララルルニ於テハ備

電信寫

ノ問題ヲ別トスルモ交換船出發時間ノ混雜ニ加ヘ敵國人保護監視  
ニ付テモ遺漏無キヲ期シ難キ問題ナルニ付割當以外ノ敵國人ハ第  
一次船ノ出發後漸次上海へ移送集結セシムル豫取計アリタシ尙右  
ハ各地軍備ヘモ徹底セシメラルル豫當地陸海軍ニ連絡済ナリ  
大臣、南大、北大、任支各總領事、九江、杭州、蕪湖へ轉電セリ  
廣東ヨリ廈門へ轉電アリタシ

外務省事務

秘

電信寫

外交官手帳

昭和五 一四二四〇 略 海州 五月二十二日 發  
本省 二十二日夜着 歐

東洋外務大臣

村上副領事

第二四號

一敵國人交換ニ關スル件

當節管下ニ於テ抑留中ノ敵國英米籍十五名（海州七、淮陰七、淮安一）ニ對シ軍糧ニアリテハ（一語不明）ノ可及的送還ヲ希望シ  
既ニ近日上海迄ノ護送手配完了シアリ（徐州海州共軍ニ於テ虞想  
スルコトトナリ届タリ）

右ハ左記事由ニ依リ已ムラ得サルモノト認メラルルニ付テハ特ニ  
本名等ノ第一次乘船方針取計相成度

一、海州淮陰共ニ屬國カ匪區地帯ナルカ爲其ノ監視ニ過重ノ負擔アルコト

一、教會、病院、學校等ノ各盛物ヲ中著基督教會其ノ他ツテ中著  
民衆文化工作ニ利用セシムヘク計畫樹立シアルコト（了）

一不明箇所照會中ナルモ不取致

(分類)

電 信 案	南洋局 電送第18318號 昭和十七年五月二十日發 件名宛 在泰 石川代理大使 件 外之官子交換船ニ関スル 件 第 六 七 一 號 發 東 郷 大 臣 主任 第三課長 左 昭和十七年五月二十二日起草	暗	電送第18318號	主管
		件名宛	件名宛	件名宛
外 務 省	利益代表團ヨリニ配ロシニト知レリノ為念 泰則ヨリニ敵國ヨリニ船ノ船リ安全保障取付入 貴電中九四ニ号ニ関シ	件名宛	件名宛	件名宛

(日本標準規格B5)

(分類)

電 信 案	電送第18190號 昭和十七年五月二十二日發 件名宛 在東京 梅津大使 件 大正英國領事館ヨリ 外ノ後任ニ関スル件 第 四 三 三 號 發 天 至 若 主任 第三課長 左 昭和十七年五月二十二日起草	暗	電送第18190號	主管
		件名宛	件名宛	件名宛
外 務 省	東洋州ニ派派ノ警備官ノ外ニ取次ニ於テ電送センコ 長又ハナシ 貴電中九四ニ号ニ関シ	件名宛	件名宛	件名宛

(日本標準規格B5)

秘

傳

電信寫

昭和17 二四三五五 函 漢口 五月二十三日午後 歐  
三省 二十三日夜發

東洋外務大臣 田中總領事

第一六〇號

(引揚敵國人取扱ニ關スル件)

住道第二四八號及貴道第一三五號ニ關シ

當地軍制ニ於テハ南京總軍ヨリノ命令ニ依リ買頭往還ノ通り英領  
非官吏査定洩レ人員全部ヲ上海ニ集結ノ爲下江セシムルコトナ  
リ輸送準備ヲ進メ居ル次第ナルカ一方軍制中央ヨリハ單ニ貴道合  
第八〇四號ノ通り交換引揚敵國人員數査定セラレタキ旨指示セ  
レ居ルノミニテ當地軍制トシテハ總軍ヨリ別段ノ指示無キ限リ既

定方針ヲ變更シ得サル立場ニアルニ付中央ニ於テ軍制ト御連絡ノ  
上上海集結者ノ氏名ヲ明確ナラシメ改メテ當地軍制ヘ指令セフル  
ル豫御取計ヲ請フ  
買頭費電ト共ニ兩大、上海へ轉置セリ

外務省  
田中總領事

秘

昭和17 五月三十一日 北京 五月二十三日午後

本省 二十三日夜着

東郷外務大臣

五田参事官

第四八八號

(北支在任歐人ノ引揚ニ關スル件)

貴官合第八〇四號並ニ第三九三號ニ應ジ

當地方面軍ト關係ノ結果現地事情ヲ斟酌シテ制營費ノ他ニ關シテ

十三日北支總監各公館長ニ指令致電キタル處(本官發北支各公館

長宛電報合第三六五號御參照)制營費ニ於テ約三十名ノ增加ヲ

求メシ層ルモ右ハ濟南兵團管下ナル開封方面ノ十名ヲモ追加シテ

ルモノナルニ付左邊御了知相成候シ

引揚費等

電信寫

保科

秘

昭和17 五四三五七 略 上海 五月二十三日午後 歐、會

本省 二十三日夜着

東郷外務大臣

堀内總領事

第一一二一號

(引揚歐人滞在費ニ關スル件)

往電第一〇一三號ニ關シ

未タ何等御同電ニ接セサル處一般家庭分宿舍分既ニ立替拂濟額金

十五萬五千弗ニシテ「ホテル」收容者分差當リ金七萬弗<sup>又</sup>拂<sup>又</sup>ツ

スルニ付不取敢金五萬圓至急御送相成候シ

(了)

引揚費等

電信寫

保科



外機密

電信寫

昭和廿一年五月二十三日發着 上海 五月二十三日發着 歐

本信 二十三日發着

期內總領事

第一一二三號

「ロンドン・ワシントン」號ノ件

發着 第七二九號ニ於テ

御中 艦ノ進ニ對シ電報發着ヨリ與重院ニ對シ同船「ドック」入り  
ノ爲本部電報ニ對シ燃料支給額（一五九噸）（尤モ同船ハ往電  
第一〇七ノ報告ノ通り重油四〇〇噸ノ一ストツク「アルモ」船長  
ハ往電ノ設備トシテ更ニ三〇〇噸ヲ欲シキ旨主張ス）ノ認給方  
面出テタル與重院電報ハ許可シ難キ旨回答アリ巴ムヲ得ス郵船ニ

テハ船長ニ對シ其ノ所有「ストツク」ニテ長崎へ回航スル様説得  
中ナル趣ナリ同船出航ノ爲ニハ往電申進置キノ通り燃料油ハ勿論  
諸糧ノ修理品其ノ他食料品多量ノ發送ヲ要スルコト申ス迄モ無キ  
虞右朝廷ニ關シ手聞取り本船出航間ニ合ハサルコト無キ様豫メ中  
央ヨリ管領與重院ニ對シ訓達方御遺置アリタク尙聯絡部加藤書記  
官目下上意中ニ付同官ニ對シテモ事情説明方御取計ヲ請フ（了）

秘

昭和十七年五月二十三日午後

北京 五月二十三日午後  
本省 二十三日夜着

原外務大臣

土田参事官

第四八九號

(敵國人及斷交國人引揚ニ關スル件)

本官發在北支各公館長在張疆各公館長宛電報合三六六號

敵國並ニ斷交國人交換引揚ニ關シ當地方面專ト協議ノ結果本省側

意圖其ノ能現地事情ヲ參酌シ左ノ通り決定致シタルニ左様御承知

ノ上貴官ニ於テ然ルヘク準備相成監シ(尙草圖ニ於テモ各地兵團

ニ指令ノ旨)

一、訓書數

電信寫

(イ) 外交官 領事館家族從者ハ既定方針通り各地全部

(ロ) 一般入

青島、米國班五四、英國班三〇

濟南(張店ヲ含ム)

米國班五六(但シ右ハ開封方面居住者ニシテ徐州領事

ニ於テ手廻スルコトト致シタキニ付濟南ヨリ徐州ニ聯

絡アリタシ) 英國班二〇

芝罘、米國班十三、英國班二〇

威海衛、米國班二、英國班十三

坊子、米國班四

張家口、米國班二、英國班三七

外務省  
土田

秘

電信寫

太原 米國班十三、英國班十一

石門 米國班十二、英國班四（以上保定ヲ含む）

天津 米國班記者「ウワツクス」、英國班牧師「テールテイ

ンス」

北京 米國班記者一（外ニ家族一名居ルモ引揚リ希望シ居ラ

サルニ付本件人員ニ算入セス）

總合計二九四名

ニ身附發送ハ軍備ヨリ現地兵團ニ對シテ出發命令アル管ニ付夫迄

待タレ度シ貨車乃至船舶積込貨物ハ各地ニ於テ隨意適當便ニテ

上海海關領事館發送ノコト

ニ身附發送「ルート」等ニ付テハ日下華北交通ニ於テ研究セシメ

居リ至急決定ノ上各地附添人員等ト共ニ聯絡スルコトトス但シ

青島、芝罘、威海衛ハ海路ニ依リ適宜輸送セラレタシ

四其ノ他ハ隨時ノ本省並ニ當館電報ノ趣旨ニ依ル

本館宛先在北支各公館長、在察各館長

大臣、南大、上級ハ電報セリ

瑞西公使館	大正	五月九日	日附
上海在留米英人交換手続件			

LEGATION DE SUISSE  
AU JAPON

Tokio, le 23 mai 1942.

EE.GG.8.6.4.2.- ce.-

歐亞局

大  
野  
三  
郎

Monsieur le Ministre,

J'ai l'honneur de porter à la connaissance de Votre Excellence que selon des informations parvenues à mon Gouvernement, 37 sujets anglais et 32 citoyens américains auraient été emprisonnés par la gendarmerie japonaise en Chine, la plupart avec des criminels chinois.

Saisi par les Gouvernement intéressés, mon Gouvernement me demande si le Gouvernement Impérial voudrait bien autoriser le Consul Général de Suisse à Shanghai ainsi que ses représentants en d'autres villes de Chine à visiter les détenus. Il saurait gré, d'autre part, aux Autorités Japonaises de nous faire connaître s'il n'est pas question de mettre en liberté tous les prévenus ou tout au moins un grand nombre d'entre eux en vue de les rapatrier sur un des deux bateaux d'évacuation.

En priant Votre Excellence de consentir à me faire connaître le point de vue que le Gouvernement Impérial adoptera au sujet de la demande de mon Gouvernement, je saisis cette occasion de vous renouveler, Monsieur le Ministre, les assurances de ma très haute considération

Le Ministre de Suisse:

A Son Excellence  
Monsieur Shigenori Togo,  
Ministre des affaires étrangères,  
Tokio.



瑞西公使館	大正	五月九日	日附
在海南島米口人、外交官引揚船 便乗手続件			

LEGATION DE SUISSE  
AU JAPON

Tokio, le 23 mai 1942.

EE.4.6.6.3.- ce.

歐亞局

第三課長

九

Monsieur le Ministre,

J'ai l'honneur de porter à la connaissance de Votre Excellence que le Gouvernement des Etats-Unis d'Amérique serait désireux d'obtenir que le Gouvernement Impérial autorisât tous les citoyens américains résidant dans l'île de Hainan à s'embarquer, s'ils le désiraient, à bord d'un des deux bateaux affectés à l'évacuation des diplomates.

En priant Votre Excellence de consentir à me faire connaître la suite que le Gouvernement Impérial croira pouvoir donner à cette demande, je saisis cette occasion de vous renouveler, Monsieur le Ministre, les assurances de ma très haute considération.

Le Ministre de Suisse:

A Son Excellence  
Monsieur Shigenori Togo,  
Ministre des Affaires étrangères,  
Tokio.



REEL No. A-1184

アジア歴史資料センター

秘

昭和17 五四三八八 略 新京 五月二十四日午後發 本省 二十四日午後着 歐

東郷外務大臣 梅澤大使

第四〇八號 (大至急)

(外交官領事官交換ニ關スル件)

往電第四〇二號ニ關シ

引揚敵國人ニ當館ヨリ附添人ヲ付シ度キモ人繰リノ都合付カサルニ付左記ニ依リ夫々一時歸朝御發令相煩度シ

一 六月一日 (或ハ五月三十一日) 新京發第一班ニ牡丹江高島剛領

二 六月三日 (或ハ同日) 新京發第二班ニ哈爾濱本間書記生

電信寫

梅澤

秘

昭和17 五四四一四 略 新京 五月二十五日午後發 本省 二十五日夜着 歐

東郷外務大臣 梅澤總領事

第一二五號

(引揚敵國人ニ關スル件)

往電第一〇五號ニ關シ

左記英國人二名追加相成度シ

Stone, Crawford Edmund 男二十八歳、願中煙公司南京支店長

Ilkison, Edward 男五十三歳、亞細亞石油會社南京支店長

上總へ轉電セリ

電信寫

外交事務課

秘

電信寫

昭和四年 四月五十一日 略

芝罘 五月二十五日午後  
本署 二十六日午前

頁部外函大臣

全第四四號

長崎傳電

(外交官等ノ交換ニ關スル件)

本官北六宛覽報

第八五號

大體對本官電報第五三號ニ關シ關係電報ニ公信ニ依リ仔細詳  
承知ノ上特別ノ海配取相成リ結果海陸ノ上御電示アリ度ク尙本  
件ニ關シマハ要日別實地ヨリ當地ニ來レン淺野中將ニ事情ヲ具ケ  
新シ置キタリ又實地電報未段ノ出務者旅費費必領ノ場合並電費

ノ領ニ依リ費方ヨリ御送金ノ願ヒ得ルヤ共ニ御同電請フ  
大臣、青島、上陸、雨天、賦海商へ轉電セリ

外務省事務交換

秘

附報 五四四五二、略 南京 五月二十六日午後

本館 二十六日夜着

東洋外務大臣

藤澤總領事

第一二六號

(本館教師引揚ニ關スル件)

南江 (蘇州管内) 居住米宣教師 (Christian Reformed Church)

A. H. Selles (四七歳) (妻四二歳、子供男五歳) (本館在任宣

教師ト共ニ引揚ケヲ希望シ居ル旨現地新聞ヨリ知報アリタルニ付

右三名ヲ當館管内引揚者中ニ加ヘ、蘇江管内引揚ケセシメテ

ヤ折返シ問置アリタリ

上海、蘇州へ報告シ南江へ通報セリ

引揚ケル事ナリ

電信寫

秘

外交員交換

昭和 五十四年七月 略 上海 五月二十六日午後

本館 二十六日夜着

東洋外務大臣

藤内總領事

第一一三七號

(外交官領事員交換ニ關スル件)

貴國第六九二號ニ關シ

米國總領事ニ隨テタル處右四名ハ米國(マリントン)ニシテ昨午

月、フォオース、マドソン一當地引揚ノ際財産管理ノ爲ニ

シタルモノナル事ナリ尚同人等ハ該軍管區收容所ニ收容

ル事ナルカ目下照會中ナリ(了)

電信寫

秘

昭和17 五四三九九 略

海口 五月二十五日 前發  
本領 二十五日 前着

東郷外務大臣

笠原總領事

第九一號

(交換敵國人上海向出發ノ件)

本官發上海宛電報

第九一號

本官發大臣宛電報第七九號ニ關シ

交換敵國人十五名二十三日當地發「メナド」九ニテ當地ニ送致セ

(了)

電信寫

秘

昭和17 五四四五一 略

新京 五月二十六日 後發  
本省 二十六日 夜着

歐

東郷外務大臣

梅津大使

第四二〇號

(敵國外交官等交換引揚ニ關スル件)

往電第四〇九號ニ關シ

哈爾濱在住英人「ビーコック」(往電第三九號送付人名表第十頁  
目參照)ハ加奈陀籍ナルコト判明セルニ付第一班ニ變更セリ

(了)

電信寫

外務省交換

外務省交換



秘

電信寫

外務省に送る

閣下 一四五九六 略

芝罘 五月二十六日發  
本省 二十七日前着

敬

夏應外務大臣

長岡領事

合第百六號

(引揚希望歐人各表ニ關スル件)

本官津北大宛電

第百七號

往電合第百三十六號ニ關シ

五月六日附大臣宛電第百九十四號引揚希望歐人各表送付ノ件ニ

人名表英人ノ部「親ハ燕湖在住」ノ子供ニ「ベイリイ」ノ子供

TABLET

(男、一三歳、學生) 脱籍シ居ルコト發見シタルニ付

訂正增加ノ上御座敷ヲ請フ

大臣、青島、上海、南大ニ轉電セリ

秘

三修

昭 一四五〇四 略 光化門 五月二十六日午後 歐

本 管 二十六日夜着

東 外務大臣

錦川司政局長

第七〇號

(在 鐵道交換者ノ 檢査ニ 關スル 件)

貴 第七四號ニ 關シ

一 在 鐵道國人九十九名、六月二日午後五時十分下關着連絡船ニテ

内地ニ 送送シ下關ニ 於テ内地官憲ニ 引送シヘシ 尙書局ヨリ

送附官ヲ 神戸迄 同行セシム

一〇ニ 由

二下關ニ 於テハ 直ニ 乘車スルニ 否ヤ 乗車ノ 場合ハ 其ノ 列車番號

電アリ 變シ (赤帽ニ 荷物ノ 持運先ヲ 指示スル 際必要アルニ 由)

電信寫

六時 午後

神戸

三 左ノ 事項 鐵道省ニ 連絡ノ 上 申渡アリ 度シ

(一) 連絡船乗船ニ 關シ 便宜 供與 (一) 等四名、二等九十五名)

(二) 連絡船中ノ 乗客約 百人 分及 内地 上陸 以後ノ 辨當

(三) 同行ノ 英國 總領事 一行 四名ノ 下關 神戸 間ニ 等 乘渡 (了)

事務 知事 事務

秘

電報  
事務  
P

電信寫

昭和二十六年五月二十六日  
光化門  
本  
米

軍務外務大臣

鈴木副官局長

第七一號

在籍敵野人本國送還ノ新聞ニ發表ノ件

在籍敵野人本國送還ノ件新聞ニ發表シ發文紙キヤ各地トノ關係モ

アルヘキニ付何分ノ優折返シ電報アリ度シ(丁)

外務大臣



東亞司長

第一

外交官交換

秘傳三三號

昭和十七年五月二十六日

在威海衛

副領事 廣柄 武

Handwritten signature

昭和十七年六月五日 接受

17.6.5

中川

長岡

在芝罘

領事 長岡 半六 殿

送還歐國人ノ賠償支拂方依頼ノ件

送還歐國人ノ旅費ハ我カ方ニ於テ負擔スルコトナリタル次第  
ハ大臣發賣官宛電報ニ依リ承知致シタル處六月四日利通館ニテ  
送還ノ當地在佐歐國人十五名ニ對スル當地育島開利通館費ハ  
豫算費館ニ於テ預保管中ノ歐國人生活補助資金中ヨリ便宜費地  
東亞海運出張所ヘ御支拂方取計相償シ度此段御依頼申進ス  
謹而 東亞海運ヘハ當方ヨリ其ノ旨申進書クヘク右申進フ

在威海衛日本領事館分館

本館書記長 大臣、北京（大）

在威海衛日本領事館分館

文書課長

昭和七年五月廿五日發送

淨書

正校(原稿)

(淨書)

東 17.5.23

文書課發送日

主 歐亞局長

主任 第三課長

昭和十七年五月廿二日起草

東亞司

第一課長

譯文添附

要翻譯公

懸案

發信用執務用	
主信	/ / 2
附甲	
附乙	
附丙	
附丁	
備考	

文書課發送日	昭和七年五月廿五日發送
主	歐亞局長
主任	第三課長
管	歐亞司 第一課長
先付送寫	在滿米國官吏之數ニ関スル件
名件	在滿米國官吏之數ニ関スル件
名件録記	
名人借發	東 總 大臣
名	瑞西公使
在	在 京
昭	昭和拾九年五月廿六日附 附屬 有 無
大	大 小

(日本標準規格 B5)

26 3

一 趣 意 承 致 矣

哈爾濱及奉天ニ在ル米國總領事館々員ハ

曩、二月二十日附書翰 〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇

報アリタル通計七名ニシテ二月二十一日附書翰ニ

一普通等五七号中ニ於テ哈爾濱ハ總領事以下

館員五名、奉天ハ總領事以下館員

三名、偉人四名ナルハ同通報ニタルハ白系露人

及滿洲國人ヲ含ミタル人数ニ有之矣然ルニ

(日本標準規格 B5)

公 信 案		敬意ヲ表シテ 敬具	右回答申付奉本大臣ハ茲ニ重ホテ閣下ニ仰テ	官 <sup>兼</sup> ハ六名ト相成リタル次第ニ有之矣	トノ外 <sup>兼</sup> 東官 <sup>兼</sup> 官 <sup>兼</sup> 官 <sup>兼</sup> 交換ニ合マルハキ在滿洲國米國	歸還セシメザルトニ決定致矣依テ結句米國	或留シ執望セルノ以テ米國總領事 <sup>兼</sup> 同意ル上	在奉天總領事館員 <i>Thomas K. Lewis</i> ハ混血鬼ニシテ
-------------	--	--------------	----------------------	--------------------------------	---	---------------------	-----------------------------------	---

CH 本標準規格 B5

REEL No. A-1184

Le 26 mai 1942.

No. 215/E3

歐  
亞  
局

文  
書  
長

Monsieur le Ministre,

J'ai l'honneur d'accuser réception à Votre Excellence de sa lettre No. EE.5.2.3.-ce. du 27 avril dernier, concernant les fonctionnaires américains au Mandchoukouo.

Les membres des anciens Consulats Généraux des Etats-Unis d'Amérique à Kharbine et à Moukden sont au nombre de 7, ainsi qu'il m'avait été communiqué par la lettre No. EE.3.1.ce. de Votre Excellence, en date du 20 février. Le nombre de 21 personnes (5 membres et 16 employés de l'ancien Consulat Général à Kharbine, et 3 membres et 4 employés de l'ancien Consulat Général à Moukden), que j'avais communiqué à Votre Excellence, par <sup>la</sup> lettre No. 57/A1 du 21 février, comprend des Russes blancs et des Mandchoux. Parmi le personnel de l'ancien Consulat Général à Moukden, M. Frank Lewis qui est metis ayant exprimé le désir ardent de rester à Moukden et obtenu à cet effet l'assentiment de l'ancien Consul Général des Etats-Unis, il a été décidé de ne pas le rapatrier. Par conséquent, les fonctionnaires américains au Mandchoukouo qui seront compris dans le premier échange est au nombre de 6.

Veillez agréer, Monsieur le Ministre, les assurances renouvelées de ma haute considération.

Signature du Ministre.

發信用		執務用	
主信	/	/	2
附	甲		
	乙		
	丙		
	丁		
備考			

懸案

要録

第一課

第二課

第三課

第四課

第五課

第六課

第七課

第八課

第九課

第十課

第十一課

第十二課

第十三課

第十四課

第十五課

第十六課

第十七課

第十八課

第十九課

第二十課

第二十一課

第二十二課

第二十三課

第二十四課

第二十五課

第二十六課

第二十七課

第二十八課

第二十九課

第三十課

第三十一課

第三十二課

第三十三課

第三十四課

第三十五課

第三十六課

第三十七課

第三十八課

第三十九課

第四十課

第四十一課

第四十二課

第四十三課

第四十四課

第四十五課

第四十六課

第四十七課

第四十八課

第四十九課

第五十課

第五十一課

第五十二課

第五十三課

第五十四課

第五十五課

第五十六課

第五十七課

第五十八課

第五十九課

第六十課

第六十一課

第六十二課

第六十三課

第六十四課

第六十五課

第六十六課

第六十七課

第六十八課

第六十九課

第七十課

第七十一課

第七十二課

第七十三課

第七十四課

第七十五課

第七十六課

第七十七課

第七十八課

第七十九課

第八十課

第八十一課

第八十二課

第八十三課

第八十四課

第八十五課

第八十六課

第八十七課

第八十八課

第八十九課

第九十課

第九十一課

第九十二課

第九十三課

第九十四課

第九十五課

第九十六課

第九十七課

第九十八課

第九十九課

第一百課

公 信 案

外 務 省

於一九一九年五月廿六日發給  
 主 歐亞局長  
 管 歐亞局長  
 歐三普通 第二一六號  
 昭和十七年五月廿六日  
 日附 附屬 有、無

先付送寫

名 人 信 發

名 件 錄 記

件 (在奉天米人並教師) バイウシノ外交官交換船便乗  
 名 (在奉天米人並教師) バイウシノ外交官交換船便乗

帝國外務省、在京清西公使館ニ對シ奉天ニ  
 於テ抑爲セシ米人並教師(バイウシノ)夫等

フ才一次外交官交換船便乗ニ依リ引揚ケシメタリ  
 トノ米國政府ノ希望ヲ以テ通報相成タル本月九日  
 附書翰 EE.45.18.100007受取シタル者ニ  
 帝國政府、於ニ、米江河和ヲ才一次交換船便乗  
 船セシムルニ決定シタル者同答スルノ先テ有ス

昭和十七年五月廿六日  
 廿六

(日本標準規格B5)

(日本標準規格B5)

26 52

東 7.5.17

REEL No. A-1184

アジア歴史資料センター



No. 216/E3

文  
書  
課  
長

歐  
亞  
局

NOTE VERBALE

Le Ministère Impérial des Affaires étrangères a l'honneur d'accuser réception à la Légation de Suisse de sa Note No. EE.4.5.18.-ce. de ce mois, communiquant le désir du Gouvernement des Etats-Unis d'Amérique de rapatrier, par le premier bateau d'échange de diplomates, le Révérend Dr. et Mme. Roy M. Byram, missionnaires américains, actuellement détenus à Moukden.

Le Gouvernement Impérial a décidé de permettre à ces missionnaires américains de s'embarquer sur le premier bateau d'échange.

Le 26 mai 1942.

譯  
者  
永

課  
長

秘

電信寫

昭和十七年五月二十七日午後  
上海 五月二十七日午後  
本省 二十七日午後

東京外務大臣

第一一四一號

（在上海要國人ノ歸國ニ關スル件）

首電第七三一號ニ關シ

Mrs. Marina Poler ハ歸國ヲ希望セラルニ至レルニ付之ヲ除キ

Lucia Hoi Section de Paz 及孤兒四名ニ付テハ去々歸國方取計フコト

ノ二名ニ付テハ出來得ル限リ歸國トシム

及ヒ Antonio Gomez Rodriguez

(了)

朝鮮人等ノ持

堀内總領事

00

正

24

電信課長

發電

主管 政運局長

主任 三三三

昭和十七年五月二十七日 起草

朝鮮總督府

鈴川司政局長

發 阪本政臣局長

電送第 18943 號

昭和十七年五月二十七日 分發

17.5.27  
在鮮敵國人本國送還  
ヲ附屬ニ發表ノ件

記録件名

第七五號

懸案

貴電ヤ七一号ニ関シ

各地トシテ到南發表ニ為コナリヤハ打ニ貴地ニ於テ

右ノ仕アリヤハ打ニ貴地ニ於テ

(分類)

電信案

外務省

(日本標準規格B)

REEL No. A-1184

アジア歴史資料センター



別紙添附

亞一普通第六五號

昭和十七年五月二十七日

外務次官

興亞院總務長官心得 殿

抑留外交官及在留民交換船「コンテ・ヴェルテ」  
號積込品ニ關スル件

抑留外交官及在留民交換船「コンテ・ヴェルテ」號六月十五日上  
海出發ノ豫定ニテ、曩ニ當省係官ヨリ同船上海出帆ニ關シ燃料其他  
積込ニ關シ便宜供與方御依頼置ノ次第アル處、今般在上海港内總領  
事ヨリ別紙要領ノ通電報越セルニ付、委細右ニ付御諒知ノ上、可然御  
取計相煩度此致御依頼申進ス  
本領寫送付先 陸軍次官、海軍次官

(日本標準規格 JIS)

外務省

發信用執務用		
主信	/	2
附甲		
附乙		
附丙		
附丁		
備考		

懸案

公文借案	向交換船に乗船せしむる内地特送の荷	先付送寫	満洲國引揚敵國及び所交國人ノ輸送ニ関スル件	受信人	鐵道省 運輸局長	發信人	陸本政重局長	件録記	
	在滿洲國敵國力所交國人ノ日米及日英								
外務省									

主 歐亞局長  
任 第三課長  
昭和十七年五月廿七日起  
昭和十七年五月廿七日附 附屬 無

文書課發送 昭和十七年五月廿七日發送  
淨書 青木 正校(原稿 青木(淨書))  
昭和十七年五月十六日起

文書課長

ズンツェルテ号積込子用。 改三ツリと名記毛物

(イ) 米 四五キロト入ニ三〇袋

(ロ) 小麦粉 ニニキロト入 九七五袋

(ハ) 砂糖 拾五袋入一四〇袋

(ニ) ミルク 一七三〇〇リットル

(ホ) 牛乳 一六九〇 封入

ハ署ニ決定ヲ見タルハ今般在滿梅津大使ヨリ  
 右人方ヲ左記ノ通ニ答山道輸送スルニ決意セル  
 其ノ電報題トシ付右人方ノ同地ヨリ神戸迄ノ  
 輸送並ニ具ノ同ノ食料等ヲ付如ニシテ其ノ配  
 相好お此般信賴中自ス  
 尚右人方ノ輸送ニ全部ニ等トセシタリヤ一  
 中ハ公館為~~一~~為都合付リ限リ~~ハ~~ 寢台提供~~ハ~~付  
 ニ由配慮相好方

公 信 案

外 務 省

(日本標準規格 B5)

記  
 才一班 六十八名 (若國人四十六名 其他ノ國ノ  
 公館員二十名) 中一才二十六名 其~~中~~ 中~~一~~ 才~~一~~  
 (其ノ引越荷物 百二十箇 身廻り 百三十九箇)  
 二才 四十二名 (其ノ身廻り 百五十七箇)  
 右一 日新東京 四日朝釜山着 (五日朝神戸着)  
 才二班 八十七名 (英國及具ノ學回非官吏) 全部ニ  
 身身廻り 三百五十八箇

公 信 案

外 務 省

(日本標準規格 B5)

右ハ三日新多焚六日朝釜山着(七日神戸着)

公 信 案

外 務 省

(日本標準規格B5)

秘

昭和17 五四五二一 略

東郷外務大臣

第一三三三號

(敵國人引揚者ニ關スル件)

貴電第一三六號ニ關シ

加奈陀一名ハ英領非官吏ノ中ニ含メ置キタル者ニシテ増加ニアラ

ス又拙信第二三三七號ノ非交換希望者表中上海迄送致ノ英領非官吏

(Rin Russell) 及英國人 Mrs. D. Gaeber ノ二名ヲ増加シ計五名トナ

リ英國非官吏ハ總計四八名トナレリ又米領ハ非官吏一名トナ

レリ (Y) 一ヲ増加シ一往電第一二二二號参照) 一一名トナ

電信寫

外務省事務

小澤總領事

秘

電信寫

昭和四年 五月二十八日午後  
北京 五月二十八日午後  
本省 二十八日午後

東郷外務大臣

土田參事官

第四九七號

(歐國外交官等引當ニ關スル件)

本官發芝罘宛電報

第四九號

電報第八五號ニ關シ

一、貴省下引揚人境ハ往來合第三六五號ニ依リ御了知ノ上引揚者ノ

選定ハ貴省ニ一任セラレ、票ルニ付單側ト認察シ可然決定セラレ

タシ、倘貴省合第三六五ノ(4)(5)等ノ選定ハ「ロレンソ」マルケス

ニ於テ歐國利益代表乃至歐國側方考慮スヘキコトト了解ス

ニ引揚者輸送費ハ本省ニ請求セラレタシ

大臣、南京、上海(滬)、青島、威海衛へ轉達セリ

外交官等交換



秘

外務省事務交換

昭和V 一四八〇七 略 太原、五月二十八日附發 歐、會  
本省 二十九日附發

東郷外務大臣

田中總領事

第八七號

北支ヨリノ被交換者上海輸送ニ關スル件

貴電合第九二二號ニ關シ

當地米穀被交換者十三名ハ何レモ北京ニ本部ヲ有シ且持出シ金銅  
鑄等ノ關係モアリ同地經由ヲ希望スルモノト想料セラルル處當地  
米穀及滯在ノ糧食ハ之ヲ自辦トスルモ太原上海間ハ北京經由ニ  
等汽車賃一人ニ付百二十圓其ノ外北京滯在費(一日)及京内食費  
五百圓糧食運賃等ヲ見積レハ總計約二千七百圓ヲ要スル見込ナル

電信寫

處當館ニ於テハ右立替ノ餘裕ナキニ付至急右額電送アリタシ  
北大へ轉電セリ

秘

電信寫

2891

5/26

昭和四年五月二十八日午後

光

五月二十八日午後

二十九年

郵政局長

印

東京外務大臣

第七四號

(在野波安換者ノ乗船ニ關スル事)

自前第七七號ニ關シ

一、諸國者中ニハ病人八名アリ英國總領事一行四名分ノ内病八名分

ノ變質保留方通手電報ヲ

二、英國總領事引越船約二十四噸(此ノ重サ一五一〇噸)諸國者ノ

引越船約十八噸(此ノ重サ一三八一噸)本日正ニ各船發行ニ

テ神戸向ケ發行(金山船三十日一七リ二個)客積ハ不定ナルモ

右四十二個全部ニテ貨車一輛ノ三分ノ二程度ノ容積ナリ右特ニ

至急送券方鈔道省ト交渉アリタシ

三、各人ノ身ノ廻リ品ノ個數大類「トランク」約三百個ノ見込ニシ

テ大體一人ニテ廻搬シ得ル程度ノ容積感應ノモノナリ(了)



三三三

懸案

發信用		執務用
主信	甲	乙
附屬	丙	丁
備考		

文書課長

文書課發送日 昭和十七年五月廿八日

淨書 (吉)

正校 (原稿)

(淨書)

主 歐亞局長

主 第三課長

昭和十七年五月廿八日附

附屬 無

歐三普通 第二七 號

昭和昭和拾七年五月廿八日附

附屬 無

受 鐵道省  
運輸局長

阪本歐亞局長

先付送寫

名件録記

朝鮮引揚敵國及斷交國人ノ輸送ニ関スル件

朝鮮在任敵國及斷交國人ノ日英及日米

向外交官是也ノ交換船ニ乗船セシムル為内地

外務省

日本標準規格 B5

28 76

移送ノノニ関シテハ量ニ決主ヲ見タリ今般用  
朝鮮總督府ヨリ在鮮敵國人九十九名(在  
船者)ト申付(シ)六月二日午後五時十分(下  
着連絡船)ノ内地ニ送還スヘキ旨申付タルニ付  
艮右一行ノ内容を内地ニ神戶迄ノ輸送  
並ニ連絡船並ニ内地に陸揚げノ食料ニ付可也  
即配慮相切ニ此段依頼申進ス  
尚一行中英國總領事館員四名ノ為付ニ等

公 信 案

外 務 省

日本標準規格 B5

公  
信  
案

外  
務  
省

高台提使の印の相地

（日本標準規格B5）

REEL No. A-1184

アジア歴史資料センター

外交事務の交換

昭和7 五四五四八 附 上海 五月二十九日附送 本館 二十九日附送 附内總領事 候

京滬外務大臣

第一一五二號

(引揚敵國人ニ關スル件)

無謂敵本官宛電報

第二二號

貴電合第四四四號ニ關シ

退敵來我方ノ總道ニ依リ當管内在在敵國人中本館引揚ヲ申出テタル者英國人七(他ニ芝罘ニ於テ陸軍中ノ子供五アリ)、米國人二アリ(全部宣教師)六月五日當地出航ノ豫定ナル處右ハ第一次矣

電信寫

誤謄ニ照繪可辨ナリヤ第分ノ機要急報同前相類候シ(了)

秘

電信寫

昭和五 五四五七二 略

北京 五月二十九日 發  
本宿 二十九日 發着

陸 米

真郷外務大臣

土田 參事官

第五〇六號

(敵國外交官引揚ニ關スル件)

本官陸上海宛電報

第四七號

當地引揚米因班外交官船中携帶金合計六千六百五十圓ナリ正金銀  
由貴官宛電送ス當館員交換引揚者引率當地到着ノ際銀票ニテ手  
交セラレタリ

尙當地引揚人貨物(米九四、銀五四圓)ハ來月四日天宮寺日百九

ニ積込ミ當地直行ノ意定

大目ニ轉電セリ

外務省交換

REEL No. A-1184

アジア歴史資料センター

外機

昭和27 一四八五四 暗 内 五月二十九日 本管 二十九日 歐、南

東京外務大臣

芳澤大使

第七五九號

(散性外國人賠償方ニ關スル件)

本使發西貢宛電報

第五九五號

貴國第四三八號前段ニ關シ

電信寫

被交換者ニ對シ定額旅費ノ持出ヲ認メサルハ當ニ交換協定ノ違反  
ヲ生スルノミナラス從來ノ我方折角ノ公正ナル取扱ヲ無ニシ莫  
側ニ逆宣傳ノ口實ヲ與フルコトナルヘシ貴地海軍側ニ從來御留

敵國人ニ最小現度ノ生活費ヲ給シ居ル趣ノ處本件持出旅費ニ付テ  
モ名義會換問題ト引離シ海軍側ニ於テ立替支給セララルル意圖ナリ  
テ御確メノ上御回電アリタシ  
大臣へ轉電セリ



秘

電信寫

昭和17 一四九〇三 略

芝罘 五月二十九日發  
本管 三十 日前着

歐

東郷外務大臣

合第 四九號

(外交官等交換ニ關スル件)

本官發上海宛電報

第八九號

貴電第三六五號ニ關シ

本官發大臣宛第九四號ニテ御承知ノ適當ニ米國人引揚希望者中ニハ漢口在住 Persons ノ妻及子供(學生)五名計六名南京在住ノ OLDER 子供二名(學生)ヲ含メ報告シアル處此等八名ハ各漢

口及南京ヨリノ引揚希望者トシテ取扱フコト適當ナルヘク「ビ」及「グ」カ兩地ニ於テ今回ノ引揚中ニ含マレ居ルヤ否ヤ承知セサルモ此ノ際出來得レハ他ノ引揚米人ト共ニ當地ヨリ上海迄移動セシメ度ク右ニテ差支無キヤ又英國人中ニモ同様狀況ニ在ル子供六名アリ親ハ漢口及蕪湖在住)之モ同様取扱ヒ度シ何分ノ儀御同電請フ  
大臣、漢口、南大、上海へ電報セリ

外務省交換

長岡領事

REEL No. A-1184

秘

昭和五 五四六〇四 略 漢口 五月三十日後發 歐  
本省 三十日後着

東郷外務大臣 田中總領事

第一六九號

(外交官等交換ニ關スル件)

貴電第一四四號ニ關シ

Lurence Hall ハ海軍無電技師ニシテ戰爭勃發當時米國總領事館  
ノ祕密無電ヲ取扱ヒ居リタルモノナルモ海軍制ニテ同人カ米國海  
軍兵籍ニ在ルコトヲ確メタル上十二月二十三日上海へ送還セリ

(了)

外交官等交換

電信寫

秘

昭和五 五四六〇七 略 南京 五月三十日後發 歐  
本省 三十日後着

東郷外務大臣 濹澤總領事

第一三四號

(米國人宣教師引揚ニ關スル件)

本官發徐州宛電報

第四號

大臣發本官宛電報

合第九二八號ニ關シ

貴地引揚米宣教師二三名ハ當地經由赴滬スルヤ出發日取ト共ニ御  
回電相成度シ  
大臣、上海へ轉電セリ

電信寫

秘

傳神

電信寫

印  
本  
省  
三  
十  
日  
後  
着  
加  
藤  
總  
領  
事  
殿

東京 五月二十九日 略

天津 五月三十日 後着

殿

東京外務大臣

加藤總領事

第二二五號

(「ワイリアム、ゼー、マクナリー」ニ關スル件)

實電第一八三號ニ關シ

「マクナリー」ハ其ノ後釋放セラレ今次引揚ニ合マシムルコトト  
ナリ后レリ(了)

REEL No. A-1184

秘

電信寫

昭和17 五四六一〇 略 張家口 五月三十日後發 本 省 三十日後着 歐

東郷外務大臣 渡邊總領事

合第八四號

(米國人被引揚者ニ關スル件)

本官發北大宛電報

第八二號

貴電合第三六五號ニ關シ

其ノ後大臣來電合第九二二號ノ次第モアリ當方ニ於ケル米國被引

揚者二名ノ輸送ニ關シテハ豫定通り準備中ナルモ之レカ附添人乃

至送金手續等ニ關シテハ早目ニ手配ノ要アルニ付開始期日等ヲモ

併セテ何分ノ儀御同電ヲ請フ

大臣、上海へ轉電セリ

自國事務

REEL No. A-1184

アジア歴史資料センター

外機密

昭和17 五四六一八 (昭)

南京 五月三十日發  
本省 三十日夜着

歐

東郷外務大臣

重光大使

第六七一號

(在比島敵國人交換ノ件)

軍中央ヨリ總軍ヘノ聯絡ニ依レハ在比島敵國人約百名六月下旬上  
海着ノ便船ニテ到着ノ趣ナル處右ノ内米國向ケノモノアラハ六月  
下旬ニテハ間ニ合ハサルヘク又全部英國向ケトモハ廢棄約五十不  
足ノ見込トナリ割當ノ問題起ルト思考セラルルニ付米國向ケノモ  
ノアラハ六月中旬着滬スル様又英國向ケノモノアラハ割當モ如何  
ニスヘキヤ御同示相煩度シ

電信寫

外機密  
五月三十日發

秘

電信寫

昭和17 五四五九〇 略

南京 五月三十日後發  
本省 三十一日前着

歐

京郷外務大臣

濹澤總領事

第一三一號

(米領非官吏引揚者數照會ノ件)

實電第一〇五號ニ關シ

男 二一

女 三〇

子供 二

計 五三

右ニハ米大使館「タイピスト」並ニ「オペレーター」各一名ヲ含

ミ往電第一二六號ヲ以テ照會米宣教師三名ハ含ミ居ラス

本電冒頭實電ト共ニ上海へ轉電セリ

南大へ轉電セリ

南大へ轉電セリ

秘

昭和 五四五九二 略 南京 五月三十日後發 歐  
本省 三十一日前着

京郷外務大臣

遊澤總領事

第一三二號

(「グレイシア」夫妻引揚ニ關スル件)

本官發芝不電電報

第三號

往電符二號ニ關シ

「グレイシア」夫妻ハ六月十一日出發引揚ノ線定ニ付同人子供

二名ヲ至急上海向出發セシメラレ既言是日取御同電ヲ請フ

大臣、上海へ轉電セリ

外國人  
引揚ニ關シ

電信寫

秘

五月三十日發 歐  
本省 三十一日前着

京郷外務大臣

遊澤總領事

第一三三號

(管内敵國人引揚ニ關スル件)

本官發上海宛電報第八六號

本官發大臣宛電報

第一三一號ニ關シ

一 舊館管内米國人並ニ加奈陀人合計五三名六月十日午後二時四〇

分發列車ニテ費地ニ發送豫定

大臣へ轉電セリ

外國人  
引揚ニ關シ

電信寫

秘

電信寫

外交交換

昭和17 五月六五四 略

天津 六月一日後發  
本省 一日夜着

限

東郷外務大臣

加藤總領事

第二二八號

(外交官交換ニ關スル件)

本官發上海(大)宛電報

第二一號

北京米國大使館員荷物九四個、伯刺西爾公使館員荷物五個天津  
米國總領事館員荷物五七個合計二〇五個本月四日當地發東京海邊  
日東丸ニテ貴館宛送付スルニ付可然御取計相成度夕荷物明細表郵

送ス  
大臣、北京へ傳寫セリ